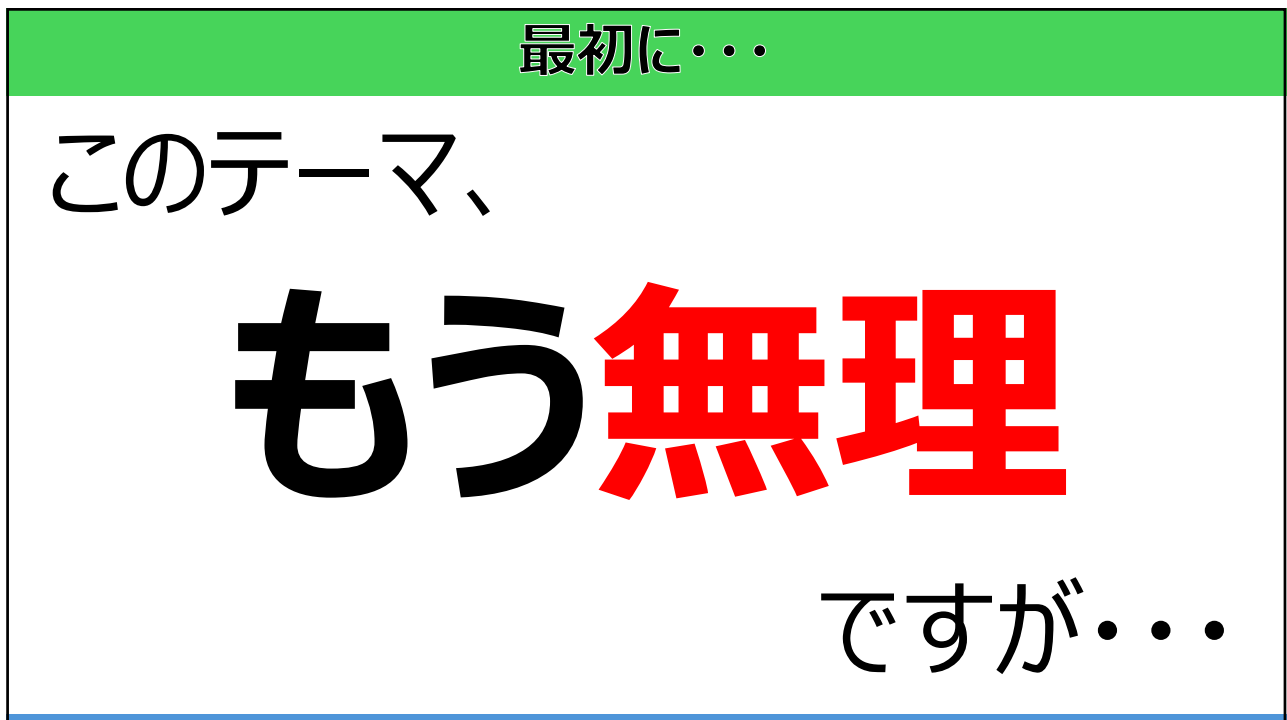




1



2

相模原城山らしく、ちょっとがんばりました。

プログラミング教育の視点：
見通しを持って

調べる

伝える

考える

振り返る

3

相模原城山らしく、ちょっとがんばりました。

県実施要項			具体的にできるところから ちよつとずつ
(1)	(2)		
ア	プログラミング教育（「プログラミング的思考」を育む教育。以下同様。）についての指導計画の作成、実施、改善に関すること	学校全体として組織的に研究に取り組むための体制を整えること	授業を中心とした教育活動を通じて 見通しをもって情報を 調べる 考える 伝える ＋ 振り返る
イ	総合的な探究の時間等における、プログラミング教育の考え方を生かした、教科横断的な問題解決学習についての、題材や教材、授業の進め方に関すること		
ウ	プログラミング教育を、共通教科「情報」から、他教科へ波及させるための、校内授業研究の在り方に関すること		
エ	適切に評価規準を設定した単元計画の作成及び、その計画に基づいた授業の実践、評価、改善に関すること		

4

これからの時代に求められる情報活用能力の育成

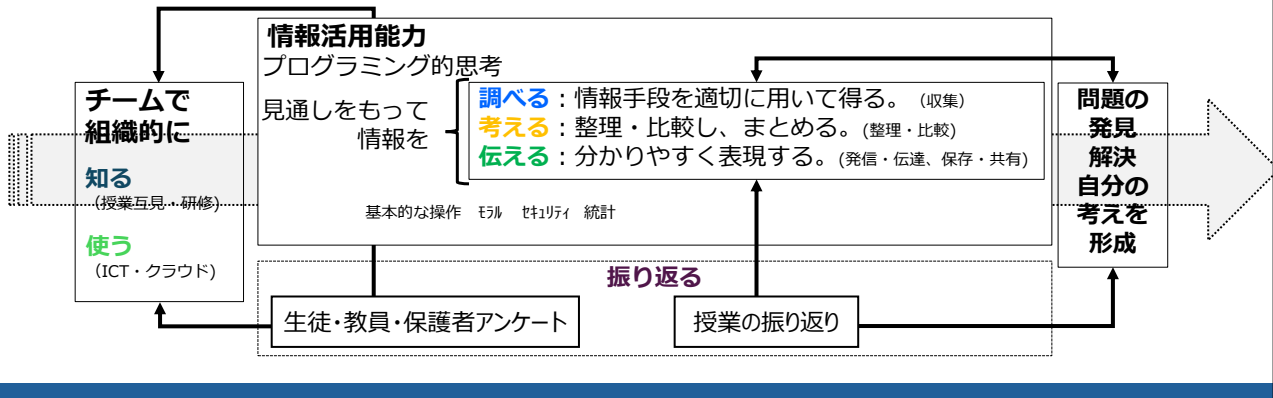
プログラミング教育研究推進校（県指定R7～R9）・DXハイスクール（文科省指定R6～R8）・ICT利活用授業研究推進校（県指定～R6）

＜教育目標＞

心身ともに健康で豊かな情操と高い教養を身につけ、社会の有為な形成者として必要な資質を持つ人物の育成

＜身につけさせたい資質・能力＞

- ・自分の良さや可能性を見出し、物事に積極的にチャレンジする力 社会に貢献できるための課題発見・解決能力と論理的思考力
- ・これからの時代に求められる情報活用能力 他者と協働する力、互いに学び高め合う力



5

背景

城山(学年制・普通科)
H25～R4: ICT利活用授業

相模原総合(単位制・総合学科)
H25～R4: プログラミング教育

情報教育の取り組み

R5再編・統合

相模原城山(単位制・普通科)
～R6: ICT利活用授業
プログラミング教育

R6・R7・R8:
DXハイスクール

相模原城山(単位制・普通科)
R7～R9:
プログラミング教育



?

これからの時代に求められる情報活用能力

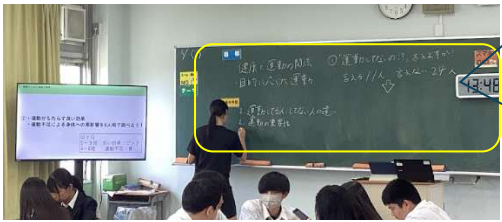
6

相模原城山らしいプログラミング的思考					
教科	テーマ		テーマの視点（○印）		
	4月当初教科会		見通しを持って情報を		
			調べる	考える	伝える
国語	論理的思考力を高めるために、日々の授業に見通しを持ち、考える力を育成する。			○	
地理歴史・公民	プリントや板書でその授業のテーマを示すなど、順序立てて見通しを持たせる。		○	○	○
数学	見通しを持った授業を行い、日常生活とできるだけ関連付け、調べる・伝える力を育成する。		○		○
理科	科学的現象に対して、調べ、自分の考えをまとめ、スライドで発表させる。情報活用能力と、互いに学び高め合う力を育成する。		○	○	○
保健体育	状況に応じた動きや作戦を仲間と試行錯誤しながら構築し、他者と協働する力を養う。			○	○
芸術	論理的思考力を高めるために、整理・比較し最適かどうか考えさせる。また他者と協働し、互いに学び高め合う力を育成する。			○	○
英語	順序化を意識した見通しのある授業		○	○	○
家庭	充実した生活を送るために必要な情報活用能力、他者と協働する力、互いに学び高め合う力を育成する。		○	○	○
情報	授業内でプログラミングに取り組み、論理的思考力の育成に取り組む。			○	

年度当初、教科会で確認

7

プログラミング教育：見通しを持って・・・



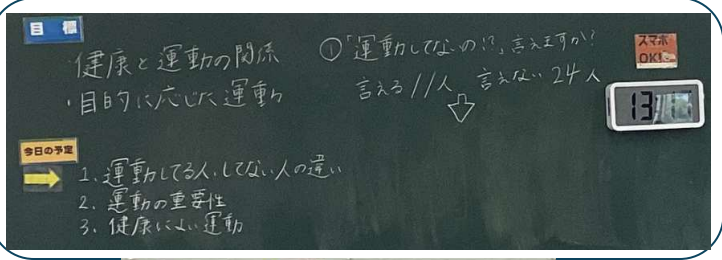
テーマ、目標、今日予定を板書

↓

授業に見通しをつける

↓

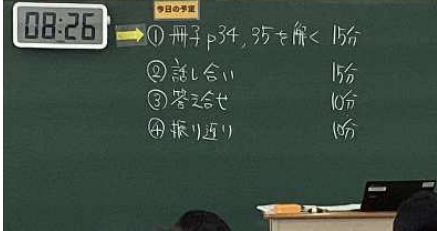
プログラミング的思考



健康と運動の関係 ①「運動してはなの?」言える? / 言えない? 24人

今日の予定

1. 運動してる人、してない人の違い
2. 運動の重要性
3. 健康にいい運動



今日の予定

- ① 冊子 p34, 35 を解く 15分
- ② 話し合い 15分
- ③ 答え合せ 10分
- ④ 振り返り 10分

板書は残る

8

プログラミング教育：調べる・考える・伝える・振り返る



9

アンケート結果から・・・ 教員・保護者視点

相模原城山高校 ICT利活用アンケート調査結果まとめ：教育DXの現在地

2025-2026年度 教職員・保護者へのアンケート結果から見る、学校におけるICT活用の進捗、教育的効果、今後の課題。



ちよつとずつ情報教育が浸透している

10

アンケート結果から・・・ 生徒視点

学びの深化：4つの視点とICT活用

前期から後期にかけて、すべての項目で「とても意識している」という生徒が増加し、ICT活用による学びの質の深まりが数値に表れています。

前期 後期



「とても当てはまる」と回答した生徒の増加 (前期 vs 後期)



ICTが支える「4つの力」の定着



全体的な学習への肯定感

強い理解実感 (「役立った」)



後期 約48%

まとめのメッセージ：生徒にとってICTは、単なるツールの枠を超え、
「主体的・協働的な学びのサイクル (調べる・考える・伝える・
振り返る)」を回すための強力なエンジンとして機能しています。

プログラミング教育の視点がちよとずつ浸透している

11

知る・使う：職員研修

研修の年間フロー



授業実践の核「4サイクル」



ツール活用のルール： 目的別アカウントの徹底分離

校務 (Office365) 授業 (Google)

情報漏洩を防止

利用ツール：Teams等
主な用途：教職員間連絡、事務連絡、個人情報 (番号化サーバ活用)

利用ツール：ロイロノート
主な用途：生徒への課題配信、思考の可視化、提出物管理

生成AI・電子黒板の活用法

生成AIによる業務のDX

Claude 資料作成や要約 NotebookLM ロイロノート提出物の音声解説

電子黒板の3つの活用モード

Android (ホワイトボード) HDMI (外部接続) ChromeOS (単体PC)

外部講師による研修

R7/8/27：プログラミング教育推進のための講演会 (学芸大教授)

R7/9/5：ICT利活用研修 (ロイロノート・生成AI)

R8/10：ICT利活用研修

R8/12：プログラミング教育推進のための講演会 (青山学院大教授)

ちよとずつ授業づくりに影響を与えている

12

DXハイスクール(高等学校DX加速化推進事業)

Digital X-formation

- ・文理横断的な探究的な学び
- ・情報・数学・理科・総合的な探究の時間の教育内容の充実
- ・効果的にICTを利活用できる環境整備

これからの時代に求められる
情報活用能力の育成

整備内容

①情報Ⅱの学習内容充実

- ・ノートPC等の調達
- ・学習用ドローンプログラミング



②「ものづくりラボ」の設置

- ・3Dプリンタの増設、動画編集、eスポーツ用PCの配置
- ・授業や放課後に誰でも利用できる部屋



13

DXハイスクール(高等学校DX加速化推進事業)

Digital X-formation

- ・文理横断的な探究的な学び
- ・情報・数学・理科・総合的な探究の時間の教育内容の充実
- ・効果的にICTを利活用できる環境整備

これからの時代に求められる
情報活用能力の育成

整備内容

③産学連携による学校Vtuberの作成



④高大連携講座の実施

14

情報発信



HP上に【ICT&プロ】SAGASHIROトピックス更新中

15

成果と課題

【成果】

- 「調べる」、「考える」、「伝える」、「振り返る」の視点は定着しつつある。
- 教員研修の充実によりプログラミング的思考への意識が高まったこと、および生徒アンケートで「思考力・表現力が高まった」とする回答が9割を超え、授業改善の効果があつた。

【課題】

- 「これからの時代の求められる情報活用能力の育成」をプログラミング教育の視点を踏まえ、授業を中心とした教育活動を通じて、組織的に研究を進める体制を充実させることが課題である。
→グループとしての位置づけが必要?
- 高等学校における情報科以外でのプログラミング教育がどうあるべきか?
→指導要領改訂の動きを注視

16